

令和元年度 第4回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和元年12月13日

件名	私立認定こども園の利用定員の内訳変更について						
所管部課	子ども家庭部 子ども政策課						
内 容	以下の私立認定こども園について、令和元年10月1日からの幼児教育・保育無償化による2号認定利用者の見込みに合わせた利用定員の内訳変更申請があったため、報告する。						
	1 キャッツ（学校法人千葉学園）						
	変更前						
		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	1号	-	-	13人	17人	11人	41人
	2・3号	6人	9人	12人	8人	9人	44人
	合計	6人	9人	25人	25人	20人	85人
	変更後						
		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	1号	-	-	<u>12</u> 人	<u>14</u> 人	<u>7</u> 人	<u>33</u> 人
2・3号	6人	9人	<u>14</u> 人	<u>12</u> 人	<u>11</u> 人	<u>52</u> 人	
合計	6人	9人	<u>26</u> 人	<u>26</u> 人	<u>18</u> 人	85人	
【1号】3歳以上の教育標準時間認定							
【2号】3歳以上の保育（標準または短※）時間認定							
【3号】3歳未満の保育（標準または短※）時間認定							
（※保育標準時間 11 時間利用・保育短時間 8 時間利用）							

令和元年度 第4回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和元年12月13日

件 名	「未来へつなぐあだちプロジェクト」年次別アクションプランの平成30年度実績及び評価結果について																						
所 管 部 課	政策経営部 子どもの貧困対策担当課																						
内 容	「未来へつなぐあだちプロジェクト」年次別アクションプランについて平成30年度実施事業の実績を取りまとめ、事業の評価を行った。 別添の「未来へつなぐあだちプロジェクト」年次別アクションプラン（5ヵ年計画）平成30年度子どもの貧困対策主要事業実績及び評価結果の概要を報告する。 1 「未来へつなぐあだちプロジェクト」年次別アクションプランの平成30年度実績額について 年次別アクションプランの平成30年度柱立て別の総事業費及び事業費並びに人件費については、以下のとおりである。 ■平成30年度 柱立て別実績額 (千円) <table><tr><th rowspan="2">柱 立 て</th><th rowspan="2">総事業費</th><th colspan="2">総事業費内訳</th></tr><tr><th>事業費</th><th>人件費</th></tr><tr><td>柱立て1 【教育・学び】計</td><td>5,840,610</td><td>3,952,641</td><td>1,887,969</td></tr><tr><td>柱立て2 【健康・生活】計</td><td>23,030,851</td><td>21,696,251</td><td>1,334,600</td></tr><tr><td>柱立て3 【推進体制の構築】計</td><td>11,107</td><td>1,753</td><td>9,354</td></tr><tr><td>総 計</td><td>28,882,568</td><td>25,650,645</td><td>3,231,923</td></tr></table> 2 「未来へつなぐあだちプロジェクト」年次別アクションプランの平成30年度実績の事業評価結果について (1) 評価方法について 事業担当課による一次評価（自己評価）に加え、政策経営部による二次評価（内部評価）、学識経験者による三次評価（外部評価）を実施した。 (2) 一次評価（自己評価）の結果について 年次別アクションプランの主要事業（116事業）について、活動目標に対する平成30年度の活動実績を達成度に応じて、事業担当課が5段階で評価した。柱立て別の一次評価の結果は、以下のとおりである。	柱 立 て	総事業費	総事業費内訳		事業費	人件費	柱立て1 【教育・学び】計	5,840,610	3,952,641	1,887,969	柱立て2 【健康・生活】計	23,030,851	21,696,251	1,334,600	柱立て3 【推進体制の構築】計	11,107	1,753	9,354	総 計	28,882,568	25,650,645	3,231,923
柱 立 て	総事業費			総事業費内訳																			
		事業費	人件費																				
柱立て1 【教育・学び】計	5,840,610	3,952,641	1,887,969																				
柱立て2 【健康・生活】計	23,030,851	21,696,251	1,334,600																				
柱立て3 【推進体制の構築】計	11,107	1,753	9,354																				
総 計	28,882,568	25,650,645	3,231,923																				

■平成30年度 一次評価結果

柱 立 て	活動 目標 数	目標達成度（5段階評価）				
		5 目標を 大きく 上回っ た (達成率 120% 以上)	4 目標を 上回っ た (達成率 100% ～120% 未満)	3 概ね目 標どお りだっ た (達成率 80%～ 100% 未満)	2 目標を 下回っ た (達成率 60%～ 80% 未満)	1 目標を 大きく 下回っ た (達成率 60% 未満)
柱立て1【教育・学び】	64	9	20	25	3	7
柱立て2【健康・生活】	78	11	21	26	11	9
柱立て3【推進体制の構築】	4	2	1	0	1	0
総 計	146	22	42	51	15	16

(3) 二次評価（内部評価）及び三次評価（外部評価）の結果について

ア 二次評価（内部評価）

各施策の重点事業から抽出した41項目について、事業担当課とのヒアリングを経て、目標達成度、事業進捗状況、課題分析、今後の方向性等を点数換算し、政策経営部（子どもの貧困対策担当課、政策経営課、財政課）がA、B+、B、B-、Cの5段階で評価した。

詳細は、別紙情報連絡事項2-1「二次評価対象事業（評価結果順）」のとおり。

イ 三次評価（外部評価）

子どもの貧困対策検討会議の学識経験者が、二次評価対象事業の課題や方向性等について意見を付し、施策ごとに5段階で評価した。

ウ 学識経験者からの主な意見

柱立て1【教育・学び】

<施策1> 学力・体験支援 A評価

足立はばたき塾について、科目を増やすなど、都立高校対策などの対応をしたことは重要である。

<施策3> 子どもの居場所づくり A評価

居場所を兼ねた学習支援について、高校生の支援まで行っていることは評価できる。

柱立て2【健康・生活】

＜施策1＞ 親子に対する養育支援 A評価

ASMAP事業については本当によくやっている。

＜施策4＞ 保護者に対する生活支援 A評価

多様な相談内容に全て相談員が対応していくのではなく、弁護士等の専門家が離婚や養育費などについて、より専門的なアドバイスを行うなど、専門家も活用していくと良い。

■平成30年度 二次評価及び三次評価結果

柱立て・施策		項目数	二次評価 (5段階評価)					H30 三次評価 (5段階評価)	H29 三次評価 (5段階評価)
			A	B+	B	B-	C		
			25点以上	25点未満 19点以上	19点未満 13点以上	13点未満 7点以上	7点未満		
柱立て1 【教育・学び】	1 学力・体験支援	7	5	2	0	0	0	A	A
	2 学びの環境支援	4	4	0	0	0	0	A	A
	3 子どもの居場所づくり	2	2	0	0	0	0	A	A
	4 キャリア形成支援	3	2	1	0	0	0	B+	B
	【教育・学び】計	16	13	3	0	0	0	—	—
柱立て2 【健康・生活】	1 親子に対する養育支援	4	3	1	0	0	0	A	B+
	2 幼児に対する発育支援	8	8	0	0	0	0	A	B+
	3 若年者に対する就労支援	3	2	1	0	0	0	B+	B+
	4 保護者に対する生活支援	8	8	0	0	0	0	A	B+
	【健康・生活】計	23	21	2	0	0	0	—	—
柱立て3【推進体制の構築】		2	2	0	0	0	0	A	A
総計		41	36	5	0	0	0	—	—

※ 詳細は、別添情報連絡事項2-2「未来へつなぐあだちプロジェクト」年次別アクションプラン（5ヵ年計画）平成30年度 子どもの貧困対策主要事業 実績及び評価結果のとおり

二次評価対象事業(評価結果順)

No.	事業名	平成30 年度	平成29 年度	前年 度比
1	1-1-1 基礎的・基本的な学力の定着に向けた事業 ①あだち小学生夏休み学習教室	A	対象外	
2	1-1-1 基礎的・基本的な学力の定着に向けた事業 ③ 中1夏季勉強合宿	A	B+	↑
3	1-1-1 基礎的・基本的な学力の定着に向けた事業 ④数学チャレンジ講座	A	対象外	
4	1-1-1 基礎的・基本的な学力の定着に向けた事業 ⑤ 英語チャレンジ講座	A	B+	↑
5	1-1-3 足立はばたき塾	A	A	→
6	1-2-3 スクールソーシャルワーカー活用事業	A	A	→
7	1-2-4 登校サポーター派遣事業	A	A	→
8	1-2-5 適応指導教室(チャレンジ学級)	A	A	→
9	1-2-11 学習環境整備支援(塾代支援)等	A	対象外	
10	1-3-1 居場所を兼ねた学習支援	A	A	→
11	1-3-3 子どもの学習支援や居場所づくりに取り組むNPO・ボランティア団体等の 支援	A	A	→
12	1-4-1 キャリア教育支援事業	A	対象外	
13	1-4-3 高校中途退学予防(東京都教育委員会との連携を強化) ②高校中途退学に関わる中学校・高等学校連絡協議会	A	A	→
14	2-1-1 妊産婦支援の充実 ASMAP	A	A	→
15	2-1-2 こんにちは赤ちゃん訪問 ASMAP	A	A	→
16	2-1-3 乳幼児健康診査 ASMAP	A	A	→
17	2-2-1 歯科健診の強化①	A	A	→
18	2-2-1 歯科健診の強化②	A	A	→
19	2-2-2 歯科保健活動事業	A	A	→
20	2-2-3 幼保小接続期カリキュラム	A	B	↑
21	2-2-7 食育の推進事業①	A	A	→
22	2-2-7 食育の推進事業②	A	A	→
23	2-2-7 食育の推進事業③	A	A	→
24	2-3-2② セーフティネット事業	A	対象外	
25	2-3-7 就労準備支援事業	A	対象外	
26	2-4-1 ひとり親家庭に対する就業支援 ① 高等職業訓練促進給付金	A	A	→
27	2-4-1 ひとり親家庭に対する就業支援 ② 自立支援教育訓練給付金	A	A	→
28	2-4-1 ひとり親家庭に対する就業支援 ③ 高校卒業程度認定試験合格支援事 業	A	A	→
29	2-4-1 ひとり親家庭に対する就業支援 ④ 自立支援プログラム策定事業	A	A	→
30	2-4-1 ひとり親家庭に対する就業支援 ⑤ 就労支援講座	A	A	→
31	2-4-1 ひとり親家庭に対する就業支援 ⑥ 育児支援サービス利用料助成	A	対象外	
32	2-4-2 ひとり親家庭の交流支援 ② ひとり親家庭サロン	A	A	→
33	2-4-3 ひとり親家庭に対する相談事業 ① ひとり親家庭からの相談	A	A	→

No.	事業名	平成30 年度	平成29 年度	前年 度比
34	3-1 相談事業の連携強化 生活サポート相談	A	A	→
35	3-5 子どもの貧困対策の啓発事業(講演会開催など)	A	A	→
36	1-1-10 大学連携による体験事業 ①あだちの大学リレー企画	B+	対象外	
37	1-1-10 大学連携による体験事業 ②体験学習推進事業	B+	B+	→
38	1-4-2 高校生キャリア教育支援	B+	対象外	
39	2-1-5 きかせて子育て訪問事業(養育困難改善事業)	B+	B+	→
40	2-2-9 発達支援児に対する事業の推進	A	B+	↑
41	2-3-1 あだち若者サポートステーション	B+	対象外	

令和元年度 第4回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和元年12月13日

件 名	区内西部地域「居場所を兼ねた学習支援」事業委託の事業者の選定について
所 管 部 課	福祉部 くらしとしごとの相談センター
内 容	家庭での学習が困難な子どもたちに、家庭に代わる学習の場所と安心して過ごせる場所となる「居場所を兼ねた学習支援」施設（区内西部地域）の令和2年度から6年度までの委託契約について、公募型プロポーザルにより以下のとおり事業者を選定した。 1 選定事業者 （1）名 称 特定非営利活動法人キッズドア （2）所在地 中央区新川2-1-11 2 選定経過 （1）第1回選定委員会 令和元年7月25日（木） スケジュール、公表書、評価基準等について審議した。 （2）第2回選定委員会 令和元年9月11日（水） 書類審査。参加表明者1者を審査し、提案書提出者として選定した。 審査結果は別紙情報連絡事項3-1「提案書提出者選定結果」のとおり。 （3）第3回選定委員会 令和元年10月31日（木） プレゼンテーションと質疑応答。提案書提出者1者の提案書を特定（第2回選定委員会の審査結果とは切り離して採点）。 審査結果は別紙情報連絡事項3-2「提案書特定結果」のとおり。 3 委託契約期間（予定） 令和2年4月1日から令和7年3月31日 4 提案価格 217,379,848円（5年間、税込み） 5 提案概要 （1）学習支援 ア 寄り添い型学習による基礎学力の向上、学習習慣の定着

	イ 定期テスト対策、高校受験対策、模擬試験の実施 (2) 居場所支援 ア 地域団体、企業、町会・自治会との協力・連携による 体験活動の実施 イ 子ども食堂やNPOとの連携した食の提供 ウ 高校生への自習スペースの提供 (3) 不登校児童・生徒に対する居場所支援 6 今後のスケジュール（予定） (1) 令和2年1月下旬 契約仕様書の作成、契約請求 (2) 令和2年4月1日 委託契約締結、業務開始
--	--

足立区居場所を兼ねた学習支援事業委託 提案書提出者選定結果

情報連絡事項3-1

対象業務名			足立区居場所を兼ねた学習支援事業委託		配点	業者名
項番	評価項目					特定非営利活動法人キッズドア
	分類	指 標				得点
1	経営状況	経営状態は良好で、経営状況は安定しているか	財務諸表(決算、貸借対照表、損益計算書等)		100	100
2	業務遂行能力	配置予定の担当者の資格や経験等、業務遂行体制は妥当か	配置予定の担当者の資格、経験等		100	73
3	履行保証力	履行保証の面で心配がないか	自己資本比率		25	25
4	瑕疵担保力	賠償責任保険の加入し、瑕疵に対する責任をとれるか	賠償責任保険の加入の有無		50	50
5	業務執行技術力	同種・類似業務の実績があり、業務を遂行するために必要な知識・経験があるか	同種・類似業務の実績		100	100
6	地域精通度	業務対象エリアの特殊情報を熟知しているか	近隣エリアにおける過去の業務実績		50	48
7	専任性	配置予定担当者が当該業務に専念できる時間が十分あるか	配置予定の担当者の業務量・実施体制		50	48
8	社会貢献度	社会貢献度・地域貢献度があるか	ISO14001等の取得状況、WLB(ワーク・ライフ・バランス)認定企業、えるぼし認定企業(女性活躍推進企業認定)、くるみん認定企業(子育てサポート企業認定)、災害協定等		25	19
合 計					500	463

項番	評価項目			加点	得点
	分類	説明	加点基準		
1	区内業者	区内業者	区内に本店があるか	区内に本店があり、登記しているか	50
総 計					463

順位					1
----	--	--	--	--	---

足立区居場所を兼ねた学習支援事業委託 提案書特定結果

情報連絡事項3-2

対象業務名			足立区居場所を兼ねた学習支援事業委託	配点		業者名 特定非営利活動 法人キッズドア
項番	評価項目		指 標			得点
	分類					
1	業務の理解度	業務の理解度は十分か	業務実施方針の的確性	120	120	111
2	提案内容の的確性	業務実施体制、手順は妥当か	事前準備(拠点施設等の準備、引継体制)、実施体制(人員配置、運営体制)、業務内容に必要な事項の理解度 実施時期の的確性	60	240	51
3		課題を的確にとらえているか 解決策は具体的か	支援対象者の課題の把握方法の的確性 解決に向けた提案の具体性	60		54
4		独創性があり、現実的か 今後の発展性があるか	提案の独創性・実現性 提案の今後の発展性	60		52
5		採用手法は妥当か	提案・手法の先駆性 他の団体の模範となる提案	60		50
6	安全・衛生面の配慮	安全・衛生面の配慮しているか 緊急事態に備えているか	安全面、衛生面の配慮 緊急連絡体制、マニュアルの有無	30	30	22
7	コスト	提案見積価格は妥当か	提案見積価格	60	60	30
8	特定テーマに対する 取組み姿勢	地域・関係機関等の調整役となり、事業 展開をしているか	関係機関等の業務内容の理解度 地域づくりを意識した提案	30	30	29
9	プレゼンテーション 質疑応答	質問を理解し、的確に答えているか	プレゼンテーションにおける説明能力や業務への意欲、論理性、態度、資料の正 確性等	30	120	29
10		説明が論理的で、説得力があるか		30		23
11		冷静に説明、回答しているか		30		28
12		提案書・プレゼンテーションに誤りはないか		30		26
合 計				-	600	505

項番	評価項目				加点		得点
	分類	説明	加点基準				
1	区内業者	区内業者	区内に本店があり、対象業務区域が区内であるか	区内に本店があり、登記しているか	60	-	0
2	区内業者	区内業者	区内の支店があり、対象業務区域が区内であるか	区内に支店があり、登記しているか	18	-	0
総 計							505

順 位						1
-----	--	--	--	--	--	---